第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	廃棄物処理施設整備費積立事業			
事業概要							
廃棄物処理施設整備費積立							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
廃棄物処理施設の建替等に要する費用を基金に積み立てた。 (1) 令和5年度積立額 公債利子 2,054,293円 預金利子 207,999円 一般財源 800,000,000円 合計 802,262,292円 (2) 令和5年度末基金残額 (R6年度当初基金残額) 4,967,685,085円 (3) 令和5年度取崩額 なし		決算額 (千円)	800,023	600,267	802,262	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	100.0	100.0	99.7		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		廃棄物処理施設整備に要する多額の費用は、世代間で公平に負担する必要があることから、計画的な積立が求められる。				継続	

2	所管室課	事業課	事業名	事業課庁舎管理事業			
事業概要							
事業課庁舎管理							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
事業課庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務を実施。また、庁舎を適切に維持するための修繕を行った。 修繕件数 令和5年度 9件 令和4年度 12件 令和3年度 8件		決算額 (千円)	15,077	21,070	14,634	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	99.8		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		建築後49年が経過し、老朽化が進んでいるため令和7年度から大規模改修を行う予定である。				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 512	施策 資源を大切にする社会システムの形成
-----------	----------------------

管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部
------	--------	------	-----

3	所管室課	事業課	事業名	動物の死体等収集運搬事業			
事業概要							
動物の死体等収集運搬							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1)医療に伴う排出物等収集件数 令和5年度 315件 令和4年度 376件 令和3年度 337件 (2)死獣収集件数 令和5年度 ペット 662件 野良猫等 743件 令和4年度 ペット 593件 野良猫等 778件 令和3年度 ペット 672件 野良猫等 849件		決算額(千円)	12,679	12,680	13,076	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	87.4	87.9	88.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		ペットだけではなく道路上等で死亡している動物も収集しているため、生活環境の保全には欠かせない事業である。				継続	

4	所管室課	事業課	事業名	ごみ減量・資源化推進事業			
事業概要							
公共施設収集運搬委託（水銀使用製品産業廃棄物）、ごみ分別排出啓発、事業所減量・資源化指導							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1)蛍光灯及び乾電池の収集量 令和5年度 蛍光灯 1,750.5kg 乾電池 643kg 令和4年度 蛍光灯 2,100.5kg 乾電池 650kg 令和3年度 蛍光灯 2,579.5kg 乾電池 750kg (2)事業所指導件数 令和5年度 728件 令和4年度 753件 令和3年度 570件 (3)持去り防止パトロール 令和5年度 パトロール回数 指導件数 28件 令和4年度 パトロール回数 指導件数 24件 令和3年度 パトロール回数 指導件数 15件		決算額(千円)	7,745	8,640	8,472	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容	
		水銀使用製品産業廃棄物は、他と混合せずに保管し、破碎せず収集する必要があるため、令和2年度から環境部にて一部を除く公共施設から出る蛍光灯等の一括処理を行っている。 事業者が出すごみには資源化可能な紙類が多く含まれているため、資源化に関する情報提供等の啓発が必要である。 資源物の持去りパトロールを中断すると持去り業者が増加するため、継続して実施する必要がある。また、持去り業者に対し、効果的な指導方法を検討する必要がある。				継続	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 512	施策 資源を大切に作る社会システムの形成
-----------	----------------------

管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部
------	--------	------	-----

7	所管室課	資源循環エネルギーセンター	事業名	大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業			
事業概要							
大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
(1)大阪湾広域廃棄物埋立処分場への埋立量 5,457t (2)普通建設事業費(大阪湾広域廃棄物埋立処分場整備事業) 5,756千円		決算額(千円)	3,278	4,069	5,756	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
		現在の事業の在り方で一定の事業効果は得られているが、処分料金の上昇に伴い今後の廃棄物処理費用が増大する懸念があることから、更なる効率的な運用が必要である。				今後の実施計画の方向性・内容	
						継続	

8	所管室課	破碎選別工場	事業名	破碎選別工場管理事業					
事業概要									
破碎選別工場管理									
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点			
令和5年度	処理量	14627.80 t	決算額(千円)	446,637	467,968	554,956	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性		
	再生資源回収量	7983.63 t		一般財源の比率(%)	83.2	77.1			69.0
	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題								
		プラント設備の老朽化により維持管理にかかる労力は増大しているが、適切にごみ処理ができています。老朽化した設備については、更新や適切な点検等により故障によるごみ処理停止を未然に防止する必要がある。				今後の実施計画の方向性・内容			
						継続			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 512	施策 資源を大切に作る社会システムの形成
-----------	----------------------

管理事業	ごみ処理事業	所管部局	環境部
------	--------	------	-----

9	所管室課	破碎選別工場	事業名	破碎選別工場等基幹的改良事業											
事業概要															
破碎選別工場等基幹的改良															
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点									
平成30年度	基幹的改良事業補助金開始に伴う交付金交付可能性調査の開始	決算額(千円)	787,897	837,408	317,570	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性									
令和元年度	基幹的改良工事発注仕様書等の作成業務・長寿命化総合計画の策定業務	一般財源の比率(%)	12.3	11.3	14.3										
令和2年度	基幹的改良工事着手	事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題													
令和5年度	基幹的改良工事終了	特になし			今後の実施計画の方向性・内容										
<table border="1" style="width:100%; text-align:center;"> <tr> <td colspan="8">廃止</td> </tr> </table>								廃止							
廃止															

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題					
今後の実施計画の方向性・内容							

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	512	施策	資源を大切に社会システムの形成
管理事業	し尿処理事業	所管部局	環境部

1	所管室課	事業課	事業名	公衆便所管理事業			
事業概要							
高浜神社内公衆便所の維持管理							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
【令和5年度実績】 高浜神社内の公衆便所を適切に管理するために清掃業務を実施。		決算額 (千円)	357	266	252	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 ■ 効率性 ■ 公平性 ■ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の 比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					
		高浜神社内公衆便所は、昭和45年(1970年)万博開催に伴い、市内に訪れる方のために設置した。令和5年度に利用状況調査を実施し、公衆便所と認知されていることが判明したため、老朽化による建物の安全性、民有地での建替えなど施設の更新には課題もあり、今後のあり方について神社等と協議していく。					

2	所管室課	事業課	事業名	事業課業務グループ庁舎管理事業			
事業概要							
事業課業務グループ庁舎の維持管理							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
【令和5年度実績】 業務グループ庁舎を適切に管理するために、機械警備業務、清掃業務、樹木剪定業務を実施した。また、1階トイレ修繕等6件の修繕を行った。		決算額 (千円)	3,797	14,902	3,244	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性 今後の実施計画の方向性・内容 継続	
		一般財源の 比率(%)	100.0	100.0	100.0		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題					
		建設後48年が経過し、施設の老朽化が進んでいるため、早急な改善が必要である。また、公共施設最適化計画の中で、今後の方向性を検討する必要がある。					

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード 512	施策 資源を大切にする社会システムの形成
-----------	----------------------

管理事業 し尿処理事業	所管部局 環境部
-------------	----------

3	所管室課	事業課	事業名	し尿収集運搬処理事業			
事業概要							
し尿の収集運搬、浄化槽清掃汚泥等の受入							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
【令和5年度実績】 し尿は、委託業者による汲取り世帯及び仮設トイレ等の収集運搬を行った。 浄化槽は、許可業者による浄化槽清掃汚泥等の搬入受入れを行った。 (1) し尿収集量 475.13kℓ (2) 浄化槽汚泥等収集量 1,409.11kℓ		決算額(千円)	32,797	33,021	33,209	※課題があるものは■ ☒ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☒ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)	87.9	87.1	85.7		
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題 ・し尿収集運搬業務は全面委託しており、公共下水道普及により収集戸数が減少しているが、工事現場等の仮設トイレの収集等の需要が見込まれる。また災害時に備えて、継続的で安定的な収集体制の確保が必要である。 ・浄化槽の清掃は、浄化槽清掃業許可業者が行っているが、浄化槽を適正に使用するために、保守点検、清掃及び法定検査受検の啓発を続ける必要がある。		今後の実施計画の方向性・内容 継続			

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点	
		決算額(千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源の比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題		今後の実施計画の方向性・内容			

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名

所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	512	施策	資源を大切にする社会システムの形成
管理事業	産業廃棄物対策事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境保全指導課	事業名	産業廃棄物対策事業			
事業概要							
産業廃棄物対策							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
(1)事業場等への立入検査数 令和5年度・・・延べ218件 令和4年度・・・延べ183件 令和3年度・・・延べ350件 (2)産業廃棄物管理票（マニフェスト）交付等状況報告書の受理数 令和5年度・・・2,030件 令和4年度・・・1,907件 令和3年度・・・1,872件		決算額 (千円)	4,863	4,873	4,972	※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☒ 有効性 ☒ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)	99.8	99.8	99.6		
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	
		排出事業者への立入検査や建設現場等へのパトロールを継続的に実施し、産業廃棄物の適正処理を確保して、廃棄物処理法等の目的である生活環境の保全に寄与している。 不法投棄等の不適正処理事案においては、現場指導が重要であり、警察と連携して指導する案件もあることから、警察0Bである会計年度任用職員の配置は、継続して必要である。 今後も府内及び近隣中核市との情報交換を通じて、業務の効率化や事業費の適正化を適宜図っていく。				継続	

	所管室課		事業名				
事業概要							
活動実績		年度	R 3	R 4	R 5	評価の視点	
		決算額 (千円)				※課題があるものは■ ☐ 市民ニーズ、社会的役割 ☐ 有効性 ☐ 効率性 ☐ 公平性 ☐ 持続可能性	
		一般財源 の 比率(%)					
		事業自体の課題や対応状況・ 施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画 の方向性・内容	

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名

第4次総合計画 管理事業を構成する予算事業の評価シート

評価対象年度 令和5年度

施策コード	512	施策	資源を大切に作る社会システムの形成
管理事業	資源リサイクル事業	所管部局	環境部

1	所管室課	環境政策室	事業名	ごみ減量・再資源化促進事業		
事業概要						
再生資源集団回収実施団体に対する報償金交付、ごみ減量・再資源化啓発、廃棄物減量等推進員						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
(1)再生資源集団回収量及び交付額		決算額(千円)	54,645	43,187	39,573	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 □ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
令和5年度 回収量 5,593,526kg 交付額 39,154,682円 令和4年度 回収量 6,129,872kg 交付額 42,909,104円 令和3年度 回収量 6,507,868kg 交付額 45,555,076円		一般財源の比率(%)	99.3	100.0	100.0	
(2)ごみ減量・再資源化啓発		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
<ul style="list-style-type: none"> 食品ロス削減講習会の実施 1回 事業者向けごみ減量講習会 1回 市民向けごみ減量講習会 1回 フードドライブの実施 2回 コンタクト空ケース回収 市内20施設以上で回収 市民向け環境施設見学会 2回 		新聞等の紙媒体の発行部数が減少するなど再生資源回収量は減少傾向にある。また、子供の解散等により登録団体数も減少傾向にある。登録団体の解散時には、自治会等で取組を承継するよう呼びかけている。ごみ減量、再資源化に対する市民等の自主活動を強化・拡大し意識の向上を図っている。今後も、継続的な啓発活動をする必要がある。				
(3)廃棄物減量等推進員数(各年度末)		継続				
令和5年度 272人 令和4年度 292人 令和3年度 291人						

2	所管室課	環境政策室	事業名	資源リサイクルセンター管理事業		
事業概要						
資源リサイクルセンター管理(指定管理者施設管理)						
活動実績		年度	R3	R4	R5	評価の視点
(1)貸館利用状況		決算額(千円)	49,925	55,208	51,672	※課題があるものは■ ■ 市民ニーズ、社会的役割 ■ 有効性 □ 効率性 □ 公平性 ■ 持続可能性
令和5年度 貸館件数 666件、延利用者数 15,098人 令和4年度 貸館件数 605件、延利用者数 13,049人 令和3年度 貸館件数 454件、延利用者数 8,133人		一般財源の比率(%)	0.0	99.2	98.9	
(2)視察状況		事業自体の課題や対応状況・施策推進への貢献に関する課題				今後の実施計画の方向性・内容
令和5年度 団体数 77団体、視察者数 5,272人 令和4年度 団体数 64団体、視察者数 4,448人 令和3年度 団体数 37団体、視察者数 1,948人		若年層を含めた吹田市民全体への認知度の向上に向け、SNS等のインターネットを活用した取組を強化する必要がある。新しい工房コンテンツ開発や市民ニーズの高い問題(地球温暖化問題、プラゴミ等)をさらに取り込んでいく必要がある。				
(3)工房運営状況		継続				
令和5年度 見学者数 3,942人、実技指導数 3,459人 令和4年度 見学者数 4,868人、実技指導数 4,245人 令和3年度 見学者数 3,793人、実技指導数 3,333人						

上記以外の予算事業 ※ 当該年度で廃止した事業、繰出事業などはこちらに記入。

所管室課	事業名	所管室課	事業名